

地域密着型特別養護老人ホーム ハートフル若林 自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I. 理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 十分にできている B. ほぼできている:4人 C. あまりできていない:3人 D. ほとんどできていない	B:ご利用者様との信頼を大切にしている。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 十分にできている B. ほぼできている:3人 C. あまりできていない:2人 D. ほとんどできていない:2人	B:面会もオープンになり、面会やカフェなどの開催を通して地域住民との交流が行えている。 C:コロナが第5類になった今、地域との交流を広げたい。			
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 十分にできている:1人 B. ほぼできている:1人 C. あまりできていない:4人 D. ほとんどできていない:1人	C:運営推進会議での話し合いや、意見などが全職員に浸透していない。			
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	A. 十分にできている:1人 B. ほぼできている:2人 C. あまりできていない:3人 D. ほとんどできていない:1人				
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている:3人 C. あまりできていない:3人 D. ほとんどできていない:1人	B:①身体拘束は行われていないが全職員が完全に理解できているかは不明。 ②身体拘束は、していない。しかし入居者様の自由度は高くはない。 ③職員によっては、理解しきれていない職員もいるように思う		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	A. 十分にできている: B. ほぼできている:3人 C. あまりできていない:3人 D. ほとんどできていない:1人	B:利用者に対する言動に注意を払っている。必要に応じ面談実施している。 C:職員一人一人の認識、意識の差が大きい。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている:2人 C. あまりできていない:3人 D. ほとんどできていない:2人	D:理解できていない職員もいる為、研修の必要がある。			

8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	A. 十分にできている B. ほぼできている:4人 C. あまりできていない:2人 D. ほとんどできていない:1人	B:入居時退所時は、生活相談員や介護支援専門員が訪問し説明。家族からの疑問相談に随時対応し理解を得れるよう努めている。			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	A. 十分にできている B. ほぼできている:5人 C. あまりできていない:1人 D. ほとんどできていない:1人	B:ご利用者様の相談や、御家族様からの要望には計画作成時に介護支援専門員から聞き取りを行い計画書を作成。記録記載時に、職員に確認するよう呼び掛けている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	A. 十分にできている B. ほぼできている:4人 C. あまりできていない:2人 D. ほとんどできていない:1人	B:職員の面談を実施している。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている:2人 C. あまりできていない:5人 D. ほとんどできていない	C:職場整備については、ようやく開始しているところ		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 十分にできている B. ほぼできている:2人 C. あまりできていない:5人 D. ほとんどできていない	C:今後、各種研修の開催の促進が急務。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている:2人 C. あまりできていない:4人 D. ほとんどできていない:1人	C:外部からのアルバイトの採用が増え、同業者との交流が出来ているととらえることも可能。			
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 十分にできている B. ほぼできている:3人 C. あまりできていない:4人 D. ほとんどできていない	B:①入居者同士の交流は見受けられる。 ②職員によって個人差もあり指導も必要 ③職員によって出来ている人とそうでない人もいる。			
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている:5人 C. あまりできていない:2人 D. ほとんどできていない	B:面会をオープンにし、昔なじみの方や御家族様との時間が過ごせるように支援している。またテレビ電話や電話、手紙の音読による支援もあり。			

II. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない:2人 D. ほとんどできていない:5人	B:計画書作成時や更新時に、ご本人様や御家族様の意向を確認している。 D:現状では、なかなか希望に添えるまでは達せていない。			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 十分にできている B. ほぼできている:5人 C. あまりできていない:2人 D. ほとんどできていない	B:介護計画書の作成時、更新時にはカンファレンスを開催し意向の確認を行っている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている:5人 C. あまりできていない:2人 D. ほとんどできていない	B:検温表や、経過記録の記入を毎日行っている。職員全員とは言えないが、気づきなどを経過記録に記載している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている:4人 C. あまりできていない:2人 D. ほとんどできていない:1人	B:既存のサービスで行えないことは御家族様に依頼。個別での食事も提供。多職種とも相談している。			
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている:4人 C. あまりできていない:1人 D. ほとんどできていない:2人	C:地域資源との関りは、行えていない			
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている:5人 C. あまりできていない:1人 D. ほとんどできていない:1人	B:通院は、利用前からの病院のときもあり。毎週木曜日に訪問医の往診あり。 C:現状は、看護より働きかけてから医師が対応される。			
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	A. 十分にできている B. ほぼできている:5人 C. あまりできていない:1人 D. ほとんどできていない:1人	B:各職種にて、御家族様や病院と定期的な連絡を図り調整し連携を行っている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明し	A. 十分にできている B. ほぼできている:5人	B:入居時に、御家族様に確認し対応検討している。		A. 十分にできている B. ほぼできている	

		ながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	C. あまりできていない:1人 D. ほとんどできていない:1人			C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	A. 十分にできている B. ほぼできている:1人 C. あまりできていない:3人 D. ほとんどできていない:3人	C:救急搬送時の対応が職員全員に浸透していない。マニュアルの確認の呼びかけと指導が必要。応急処置の研修必要。 D:応急処置は、NS'にて行っている。			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 十分にできている B. ほぼできている:1人 C. あまりできていない:2人 D. ほとんどできていない:4人	C:消防の訓練は、昨年行ったのみ。地域と連携もしくは今後地域にて開催される訓練に順次参加も必要。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている:7人 C. あまりできていない D. ほとんどできていない	B:職員の声掛けや対応は、入居者の方への配慮も必要。対応が気になる職員には、伝えており現在問題はなし。しかし、接遇やマナーの研修は必要。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている:3人 C. あまりできていない:4人 D. ほとんどできていない	B:職員の都合に合わせてしまう事もあり個々のケアの見直しも必要 C::レクリエーションが充実していない。検討が必要。			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない:4人 D. ほとんどできていない:3人	D:食事は厨房で作成。利用者と一緒に片付けは今後検討。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている:3人 C. あまりできていない:4人 D. ほとんどできていない	B:食事量、水分量は記録に記載し把握に努める。個別で難しい方には、工夫も必要。			
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている:3人 C. あまりできていない:4人 D. ほとんどできていない	B:訪問歯科と連携し状態の共有を、図っている。 C:口腔ケアは、今後の課題。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	

31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている:4人 C. あまりできていない:3人 D. ほとんどできていない	B:トイレ可能な方には、トイレ対応を実施している、便秘の方には、NS'と連携し下剤を内服している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている:1人 C. あまりできていない:5人 D. ほとんどできていない:1人	B:同性希望者には、同性にて対応している。 C:週2回の入浴に努めているが、曜日は職員の都合である。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている:5人 C. あまりできていない:2人 D. ほとんどできていない	B:昼間に休息希望者には、対応している。			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている:2人 C. あまりできていない:5人 D. ほとんどできていない	C:内服薬は、NS'職と連携し様子観察している。介護職も、NS'と連携し薬の知識は必要。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている:2人 C. あまりできていない:4人 D. ほとんどできていない:1人	C:洗濯たたみ等の役割は、提供出来ている。今後はレクや誕生日会などの楽しみの機会を設けることも必要。			
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない:5人 D. ほとんどできていない:2人	C:外出は、御家族様中心で行っている。職員とは中々行っていない。			
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない:3人 D. ほとんどできていない:4人	D:金銭管理は、御家族様にて管理して頂いている。紛失の可能性もあり、現状困難。			
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている:3人 C. あまりできていない:3人 D. ほとんどできていない:1人	B:TV電話や、携帯電話もしくは固定電話で話ができるように支援。盲目の方には、絵葉書を音読している。			

39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている:4人 C. あまりできていない:3人 D. ほとんどできていない	B:館内には、絵画が飾られ、館内のEV前には植物、ベランダ全てには植物が植えられている。季節感は、12月のクリスマスツリー		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
IV. 本人暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)							
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	A. 十分にできている B. ほぼできている:2人 C. あまりできていない:5人 D. ほとんどできていない	B:同一の生活の流れになってしまいがちだが、入居者の思いに添えるようなケアを図る。 C:施設の一日の流れに沿った暮らしになってしまう事もあり、また各々に思いや希望があり、全ての思いに答えるのは現状難しい。			
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている:1人 C. あまりできていない:6人 D. ほとんどできていない	C:個々に合わせたケアは、個々に多種多様で難しいこともある。個別ケアは、今後の課題。			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている:5人 C. あまりできていない:2人 D. ほとんどできていない	B:内科外科、整形外科、眼科、歯科などの様々な症状に合わせて看護と連携している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
43		本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	A. 十分にできている B. ほぼできている:2人 C. あまりできていない:4人 D. ほとんどできていない:1人	C:環境の違いや、施設のペース、職員の都合になってしまっているため今後の課題。			
44	生活の継続性	本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができている	A. 十分にできている B. ほぼできている:6人 C. あまりできていない:1人 D. ほとんどできていない	B:御家族様の写真や、ぬいぐるみを持参し身近に置かれている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができる	A. 十分にできている B. ほぼできている:1人 C. あまりできていない:3人 D. ほとんどできていない:3人	C:現状は、御家族様との外出が多い。今後、施設のイベントを増やしていく必要がある。			

46		本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない:6人 D. ほとんどできていない:1人	C:現状は、一部の方のみ。			
47	本人が持つ力の活用	本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない:7人 D. ほとんどできていない	C:会話が困難な方もおり、少しでも笑顔を引き出せるようなケアを心掛けている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々に関わったり、交流することができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない:3人 D. ほとんどできていない:4人	C:地域の方々との交流は、今後の課題。			
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている:3人 C. あまりできていない:4人 D. ほとんどできていない	B:独居生活だった方は。施設での生活が安心と思っていただけにいるようである。 C:職員とは、親しみに交流できていると思うが地域の方々とは交流が出来ていないため今後の課題。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	